

<看護宣誓式：令和6年10月25日>

今年4月に入学した1年生26名が看護への決意を新たにする看護宣誓式が行われました。

「点火の儀」では、厳かな雰囲気の中、宣誓生一人ひとりがナイチンゲール像から自分の蠟燭に火を灯し、壇上に上がった3、4人のグループごとに「確かな技術と知識を身につけ、患者さんの気持ちに寄り添える看護師になる」「コミュニケーションを大切にし患者さんに信頼される看護師になる」など、自分たちの目標とする看護師像を力強く宣誓し、看護の道を歩み続ける決意を新たにしました。



杉山校長は、「宣誓を終えたみなさんの顔が頼もしく見えました。これからの学習はより専門的になりますが、しっかり学ぶことで、患者さんへのより良い看護につながります。今日誓った言葉を忘れず、目標にまい進されることを心より期待し、応援しています」と話されました。



在校生代表からは「実習は患者さんと密に関わる貴重な機会です。多くの学びや経験が得られる反面、全ての行動に責任が伴います。人間関係や自身の看護で悩み、迷い、くじけそうになるかもしれません。

その時は今ここにいる仲間たちや先生方、先輩たち、家族が隣にいることを思い出し、自分たちが育ったこの地域と医療を支える看護師を目指してともに頑張りましょう」と祝いの言葉が述べられました。

